

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		熊本県		市町村類型		II-2		指定団体等の指定状況		区分		平成22年度(千円)		平成21年度(千円)		区分		平成22年度(千円・%)		平成21年度(千円・%)			
市町村名		苓北町		地方交付税種地		2-1		財政健全化等	×	歳入総額	7,439,049	5,462,595	実質収支比率	2.7	2.9	歳出総額	7,203,127	5,263,492	経常収支比率	86.5	86.9		
人口		22年国調(人)	8,314	産業構造				財源超過	×	歳入歳出差引	235,922	199,103	(※1)	(96.5)	(92.3)	歳入歳出率	96.8	95.068	標準財政規模	3,629,898	3,547,278		
増減率(%)		17年国調(人)	8,927	区分	17年国調	12年国調	首都	×	翌年度に繰越すべき財源	139,026	96,896	財政力指数	0.69	0.76	近畿	×	実質収支	104,035	104,035	公債費負担比率	15.4	16.1	
増減率(%)		増減率(%)	-6.9	第1次	782	848	中部	×	単年度収支	-7,139	20,003	公債費負担比率	15.4	16.1	過疎	×	積立金	30,798	31,753	健全化判断比率	-	-	
住民基本台帳人口		23.03.31(人)	8,249	第2次	18.7	18.9	山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-	
増減率(%)		22.03.31(人)	8,363	第3次	937	1,231	指徴表選定	○	実質単年度収支	23,659	51,756	実質公債費比率	14.4	15.4	標準財政需要額	937	1,231	標準財政収入額	1,729,181	1,873,141	実質公債費比率	14.4	15.4
面積(km ²)		増減率(%)	-1.4	第1次	18.7	18.9	標準財政収入額	937	1,231	1,729,181	1,873,141	将来負担比率	125.0	125.4	標準財政需要額	22.4	27.4	標準財政収入額	2,714,400	2,754,076	資金不足比率(※3)	-	-
人口密度(人/km ²)		面積(km ²)	67.08	第2次	22.4	27.4	標準税収入額等	2,464	2,406	2,264,246	2,458,032	資金不足比率(※3)	-	-	標準税収入額等	2,464	2,406	標準税収入額等	2,264,246	2,458,032	資金不足比率(※3)	-	-
世帯数(世帯)		世帯数(世帯)	3,002	第3次	58.9	53.6	経常経費充当一般財源等	2,464	2,406	3,176,264	3,095,287	資金不足比率(※3)	-	-	経常経費充当一般財源等	2,464	2,406	経常経費充当一般財源等	3,176,264	3,095,287	資金不足比率(※3)	-	-
		世帯数(世帯)	3,002	第3次	58.9	53.6	歳入一般財源等	58.9	53.6	4,110,187	3,979,382	資金不足比率(※3)	-	-	歳入一般財源等	58.9	53.6	歳入一般財源等	4,110,187	3,979,382	資金不足比率(※3)	-	-
職員の状況																							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	6,149,491	5,788,527	うち公的資金	5,910,731	5,668,891	債務負担行為額(支出予定額)	81,669	142,907	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	101,642	91,428	
	市区町村長	1	6,822	一般職員	85	277,270	3,262	積立金	618,056	532,258	減債基金	249,525	218,951	現在高	317,290	338,364	其他特定目的基金	-	-	-	-	-	
	副市区町村長	1	5,292	うち消防職員	-	-	-	地方債現在高	6,149,491	5,788,527	うち公的資金	5,910,731	5,668,891	債務負担行為額(支出予定額)	81,669	142,907	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	101,642	91,428	
	収入役	-	-	うち技能労務職員	5	14,835	2,967	積立金	618,056	532,258	減債基金	249,525	218,951	現在高	317,290	338,364	其他特定目的基金	-	-	-	-	-	
	教育長	1	4,938	教育公務員	-	-	-	地方債現在高	6,149,491	5,788,527	うち公的資金	5,910,731	5,668,891	債務負担行為額(支出予定額)	81,669	142,907	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	101,642	91,428	
	議会議長	1	2,727	臨時職員	-	-	-	積立金	618,056	532,258	減債基金	249,525	218,951	現在高	317,290	338,364	其他特定目的基金	-	-	-	-	-	
	議会副議長	1	2,250	合計	85	277,270	3,262	地方債現在高	6,149,491	5,788,527	うち公的資金	5,910,731	5,668,891	債務負担行為額(支出予定額)	81,669	142,907	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	101,642	91,428	
	議会議員	10	2,052	ラスバイレス指数	-	-	-	積立金	618,056	532,258	減債基金	249,525	218,951	現在高	317,290	338,364	其他特定目的基金	-	-	-	-	-	
	関係する一部事務組合等一覧																						
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧				地方公社・第三セクター等一覧										
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	項番	団体名	(※2)									
(1)	一般会計	(2)	苓北町国民健康保険特別会計	(6)	苓北町水道特別会計	(10)	熊本県市町村総合事務組合	(11)	天草広域連合	(12)	熊本県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(13)	熊本県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)										
		(3)	苓北町老人保健特別会計	(7)	苓北町下水道特別会計																		
		(4)	苓北町介護保険特別会計	(8)	苓北町農業集落排水特別会計																		
		(5)	苓北町後期高齢者医療特別会計	(9)	苓北町特定地域生活排水処理事業特別会計																		

(注釈)
 ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)					歳出の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	目的別歳出の状況 (単位 千円・%)							
									区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	経常経費	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
地方税	2,109,813	28.4	2,109,813	64.1	普通税	2,109,181	100.0	-	議会費	71,904	1.0	-	-	71,904		
地方譲与税	74,165	1.0	74,165	2.3	法定普通税	2,109,181	100.0	-	総務費	1,883,052	26.1	1,071,722	-	849,976		
利子割交付金	2,085	0.0	2,085	0.1	市町村民税	265,027	12.6	-	民生費	1,377,074	19.1	50,526	-	749,953		
配当割交付金	562	0.0	562	0.0	個人均等割	9,782	0.5	-	衛生費	386,817	5.4	8,453	-	372,759		
株式等譲渡所得割交付金	241	0.0	241	0.0	所得割	196,385	9.3	-	労働費	34,724	0.5	-	-	1,850		
地方消費税交付金	82,049	1.1	82,049	2.5	法人均等割	15,074	0.7	-	農林水産業費	888,169	12.3	706,238	-	203,013		
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	43,786	2.1	-	商工費	105,094	1.5	12,717	-	92,239		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,791,177	84.9	-	土木費	440,313	6.1	113,161	-	359,414		
自動車取得税交付金	12,761	0.2	12,761	0.4	うち純固定資産税	1,790,465	84.9	-	消防費	223,368	3.1	24,069	-	211,200		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	19,070	0.9	-	教育費	1,116,123	15.5	812,593	-	312,502		
地方特例交付金	16,316	0.2	16,316	0.5	市町村たばこ税	33,907	1.6	-	災害復旧費	43,659	0.6	-	-	16,625		
児童手当及び子ども手当特例交付金	10,186	0.1	10,186	0.3	鉦産税	-	-	-	公債費	632,830	8.8	-	-	632,830		
減収補填特例交付金	6,130	0.1	6,130	0.2	特別土地保有税	-	-	-	諸支出費	-	-	-	-	-		
地方交付税	1,101,216	14.8	984,295	29.9	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	-		
普通交付税	984,295	13.2	984,295	29.9	目的税	632	0.0	-	歳出合計	7,203,127	100.0	2,799,479	-	3,874,265		
特別交付税	116,921	1.6	-	-	法定目的税	632	0.0	-	性質別歳出の状況 (単位 千円・%)							
(一般財源計)	3,399,208	45.7	3,282,287	99.7	入湯税	632	0.0	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
交通安全対策特別交付金	1,666	0.0	1,666	0.1	事業所税	-	-	-	義務的経費計	2,278,307	31.6	1,699,805	1,693,032	-	46.1	
分担金・負担金	67,140	0.9	5,099	0.2	都市計画税	-	-	-	人件費	842,652	11.7	786,607	783,741	-	21.3	
使用料	34,997	0.5	2,870	0.1	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	457,139	6.3	429,484	-	-	-	
手数料	13,851	0.2	-	-	法定外目的税	-	-	-	扶助費	802,825	11.1	280,368	276,461	-	7.5	
国庫支出金	2,065,300	27.8	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	632,830	8.8	632,830	632,830	-	17.2	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	2,109,813	100.0	-	内 元利償還金	632,586	8.8	632,586	632,586	-	17.2	
都道府県支出金	639,050	8.6	-	-	区分	平成22年度	平成21年度	-	一時借入金利子	244	0.0	244	244	-	0.0	
財産収入	74,599	1.0	-	-	徴収率	99.9	99.3	99.9	99.2	その他の経費	2,081,682	28.9	1,841,931	1,483,232	-	40.4
寄附金	2,286	0.0	-	-	(%)	99.7	97.1	99.6	96.5	物件費	522,376	7.3	426,197	336,198	-	9.2
繰入金	69,685	0.9	-	-	市町村民税	99.9	99.6	99.9	99.6	維持補修費	92,125	1.3	87,330	85,950	-	2.3
繰越金	144,103	1.9	-	-	純固定資産税	99.9	99.6	99.9	99.6	補助費等	529,451	7.4	475,980	403,268	-	11.0
諸収入	32,207	0.4	136	0.0	公営事業等への繰出	816,016	14,593	-	-	うち一部事務組合負担金	276,205	3.8	274,505	255,523	-	7.0
地方債	894,957	12.0	-	-	合計	816,016	14,593	-	-	繰入金	816,016	11.3	746,378	656,770	-	17.9
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	下水道	275,133	-18,904	-	-	積立金	109,625	1.5	105,000	-	-	-
うち臨時財政対策債	381,357	5.1	-	-	簡易水道	110,240	1,456	-	-	投資・出資金・貸付金	12,089	0.2	1,046	1,046	-	0.0
歳入合計	7,439,049	100.0	3,292,058	100.0	上水道	-	70	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	
					工業用水道	-	119	-	-	投資的経費計	2,843,138	39.5	332,529	-	-	
					国民健康保険	112,412	302	-	-	うち人件費	66,157	0.9	66,157	-	-	
					その他	318,231	-	-	-	普通建設事業費	2,799,479	38.9	315,904	-	-	
										うち補助	2,392,823	33.2	66,463	-	-	
										うち単独	349,072	4.8	236,957	-	-	
										災害復旧事業費	43,659	0.6	16,625	-	-	
										失業対策事業費	-	-	-	-	-	
										歳出合計	7,203,127	100.0	3,874,265	-	-	

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形勢収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	7,439	7,203	236	97	70	6,149	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計一般会計等	7,439	7,203	236	97	70	6,149	実質赤字額

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経営損益	繰上り又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
83									
84									
85									
86									
87									
88									
89									
90									
91									
92									
93									
94									
95									
96									
97									
計地方公社・第三セクター等									

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	経損益(形勢収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	資金不足比率	備考
1 熊本県国民健康保険特別会計	1,153	1,139	14	14	123	-	-	-	
2 熊本県老人保健特別会計	60	60	0	0	0	-	-	-	
3 熊本県介護保険特別会計	723	719	4	4	109	-	-	-	
4 熊本県高齢者医療特別会計	104	103	1	1	36	-	-	-	
5 熊本県水道特別会計	301	293	8	8	110	1,478	800	-	法非適用企業
6 熊本県下水道特別会計	346	343	3	3	239	3,314	3,137	-	法非適用企業
7 熊本県農業集落排水特別会計	18	18	0	0	15	192	189	-	法非適用企業
8 熊本県特定地域生活排水処理事業特別会計	45	45	0	0	21	203	185	-	法非適用企業
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
83									
84									
85									
86									
87									
88									
89									
90									
91									
92									
93									
94									
95									
96									
97									
計公営企業会計等				30		5,187			

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	8,240人 (H23.3.31現在)	実収赤字比率	- 9%
面積	67.08 km ²	連結実収赤字比率	- 9%
歳入総額	7,439,049千円	実質公債費比率	14.4%
歳出総額	7,203,127千円	将来負担比率	125.0%
実収支	96,896千円		
標準財政規模	3,629,898千円	市町村類型	H18 II-2 H19 II-2 H20 II-2
地方債現在高	6,149,491千円	(年度毎)	H21 II-2 H22 II-2

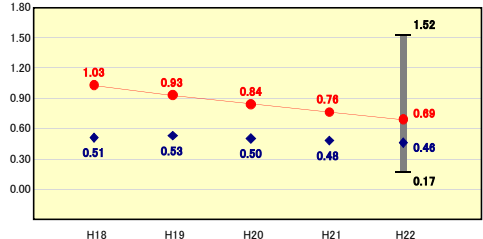


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.69]

類似団体内順位 14/72 全国平均 0.53 熊本県平均 0.37

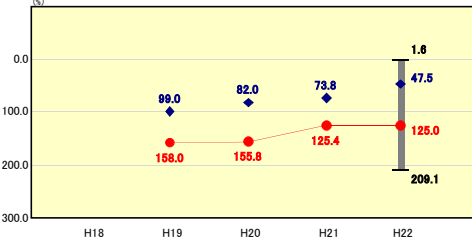


財政力指数の分析概
 九州電力等北発電所の立地等により、類似団体平均を上回る税収があるため、0.69となっているが、税の減収により近年低下傾向(平成18年度から4年連続して約0.1ずつ低下)にある。これは税収の中心となっている固定資産税の課税客体が、減価の大きい償却資産を中心としているためである。今後も財政力指数は低下する見込みであり、新たな財源確保を図り、財政基盤の安定に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [125.0%]

類似団体内順位 62/72 全国平均 79.7 熊本県平均 89.9

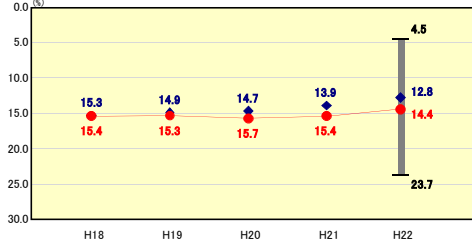


将来負担比率の分析概
 将来負担額については、前年度比較で0.4%減少しているが類似団体及び熊本県平均を大きく上回っている。要因として実質公債比率と同様、地方債現在残高の増加にあり、地方債発行額と元利償還額とのバランスを注視しつつ、財政調整基金及び減債基金などの、充当可能基金の確保に努めるなどの適正な財政運営を図り、後年度へ過度な財政負担が生じないように努める。今後も後世への負担を少しでも軽減するよう、特に新規事業の実施等については総点検を図り、財政の健全化を図る。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [14.4%]

類似団体内順位 48/72 全国平均 10.5 熊本県平均 12.9

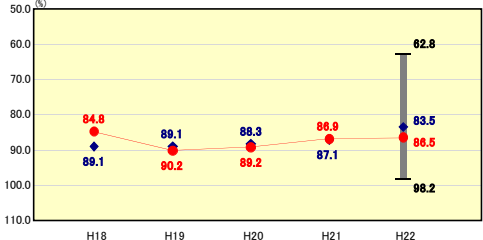


実質公債費比率の分析概
 近年の社会資本整備や国の経済対策への対応を積極的に行ってきたことに加え、臨時財政対策債の発行などにより地方債発行額が増加したことにより、類似団体及び熊本県平均を大幅に上回っている。今後は緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [86.5%]

類似団体内順位 46/72 全国平均 89.2 熊本県平均 86.9

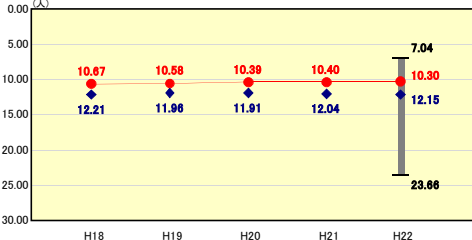


経常収支比率の分析概
 定員管理計画による人件費の抑制(平成23年度までに職員定数を100名に)や国の経済対策による普通建設事業の増によって事業費支弁による人件費負担が増加したことなどにより、前年度に比べ0.4%減少した。しかし、扶助費(町の重点施策である子育て支援策に係る経費及び障がい者、高齢者に対する給付費・保護措置費等町単独費分)が増加傾向にあることから、類似団体平均を3%上回っている。今後も一般財源の減少が見込まれることから、事務事業の見直しを進めるとともに、すべての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業について計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を積極的に実施する。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [10.30人]

類似団体内順位 18/72 全国平均 7.24 熊本県平均 7.74

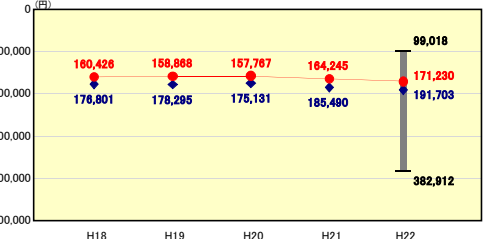


人口千人当たり職員数の分析概
 本町においては、過去においても類似団体平均を下回っているが、平成17年度から平成21年度までの定員管理計画に基づき、事務事業見直しに伴い課の統廃合や、退職者不補充により、8名の人員削減を実施した。新たに平成22年度から平成27年度までの定員管理計画を作成し、事務事業の見直しや、出張所の事務委託等により、今後もさらに住民サービスを低下させることなく人件費の削減を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [171,230円]

類似団体内順位 29/72 全国平均 114,985 熊本県平均 111,008

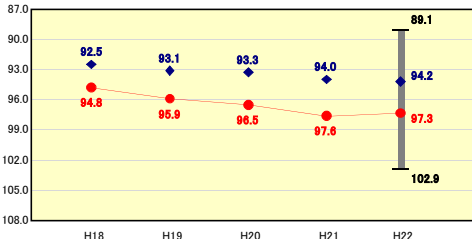


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析概
 類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が低くなっている要因として、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金や水道や下水道などの公営企業会計の人件費・物件費に充てる繰出金といった費用を合計した場合、人口1人当たりの金額は大幅に増加することになる。さらに平成22年度は経済対策事業に伴う事業費支弁人件費が増加したことも影響していることから、今後人件費・物件費ともにもなる抑制が必要となる。

給与水準(国との比較)

ラスパイレズ指数 [97.3]

類似団体内順位 60/72 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレズ指数の分析概
 給与体系の見直しが進められ、類似団体平均を3.1%上回り、全国町村平均をも2.0%上回っている。地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努めることにより、今後5年間で類似団体平均の水準まで低下させる。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

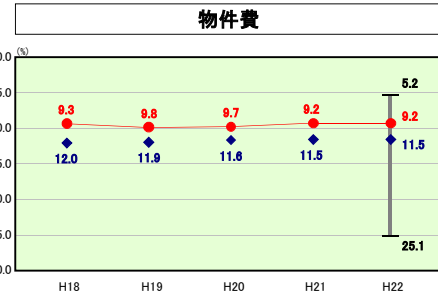
熊本県苓北町

経常収支比率の分析

人口	8,249人(H23.3.31現在)	実収	-	%
面積	67.08km ²	結算	-	%
人口	7,439,049千円	実赤字	14.4	%
面積	7,203,127千円	実赤字	125.0	%
人口	96,896千円	赤字		
面積	3,629,898千円	比率		
人口	6,149,491千円	比率		

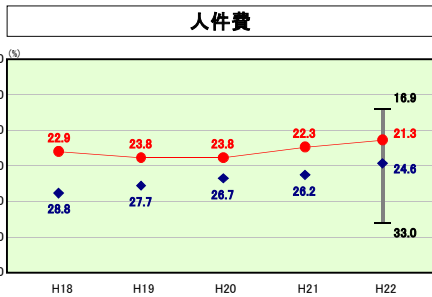


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



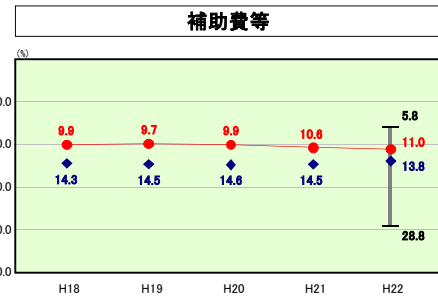
類似団体内順位 22/72 **全国平均** 12.8 **熊本県平均** 9.1

物件費の分析欄
類似団体平均と比較すると、物件費にかかる経常収支比率は2.3%下回っている。現在、民間への委託(指定管理者制度)している公共施設等もあるが、今後も町の行財政改革指針に基づき、歳出全般において業務の効率化を図り、コストの低減を推進する。



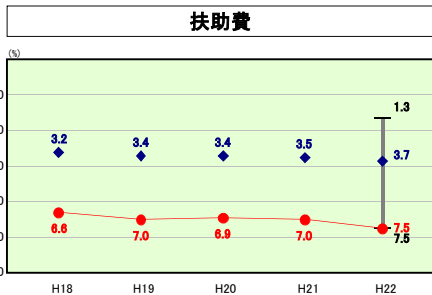
類似団体内順位 11/72 **全国平均** 25.1 **熊本県平均** 24.9

人件費の分析欄
類似団体平均と比較すると、人件費にかかる経常収支比率は3.3%下回っている。要因としては定員管理計画に基づき新規採用の抑制を図ることや、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。
一部事務組合人件費に充てる負担金や水道・下水道等の公営企業会計の人件費に充てる繰出金といった人件費に準ずる費用を合計した場合の人口1人あたりの歳出決算額は類似団体平均を上回っており、今後はこれらも含めた人件費関係経費全体について、抑制していく必要がある。



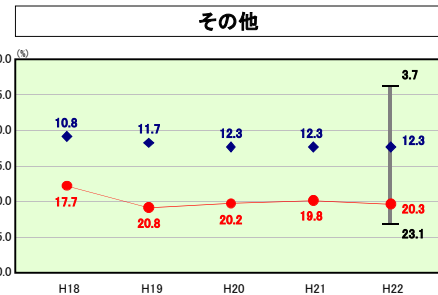
類似団体内順位 18/72 **全国平均** 10.1 **熊本県平均** 11.3

補助費等の分析欄
類似団体平均と比較すると、補助費等にかかる経常収支比率は2.8%下回っている。補助費等の主なものとして、一部事務組合への常備消防・ごみ処理等の負担金が占めているが、今後消防施設・ごみ処理施設の建て替え等により負担金の増加が懸念される。そのほか、各種団体等への補助金等については補助交付指針に基づき事業を精査した上で、予算の計上額を決定しているが、今後も各種補助事業の効果や、必要性を随時検討していく。



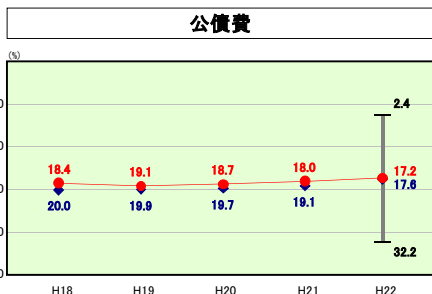
類似団体内順位 72/72 **全国平均** 10.4 **熊本県平均** 10.6

扶助費の分析欄
類似団体平均と比較すると、扶助費にかかる経常収支比率は3.8%上回っている。要因としては、本町の重点施策である少子化対策・子育て支援対策(保育料の軽減、多子世帯子育て支援、子育て支援医療費助成など町単独事業)に係る経費のほか、障がい者、高齢者に対する医療費・給付費・保護措置費等の支出が高い水準で推移していることによるものである。



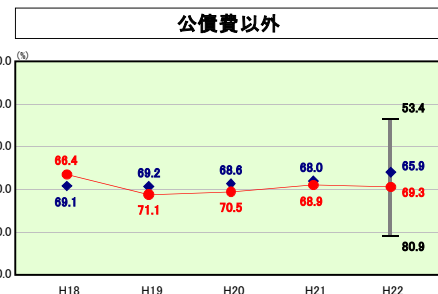
類似団体内順位 71/72 **全国平均** 11.8 **熊本県平均** 12.7

その他の分析欄
類似団体平均と比較すると、その他にかかる経常収支比率は7.5%と大きく上回っている。昨年度と比較すると0.4%減少したものの、今後も高い水準で維持すると思われる。その主な要因であるが、特に国民健康保険特別会計や介護保険特別会計の医療費・給付費の増加に伴う繰出金が多額になっている。今後も保険料の適正化を図りながら、特別会計内の経費削減を進め、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 38/72 **全国平均** 19.0 **熊本県平均** 18.3

公債費の分析欄
類似団体平均と比較すると、公債費にかかる経常収支比率は0.4%下回っている。要因としては地方債において毎年度の元利償還額より下回る公債費の計上を進めているため、年々地方債残高が減少してきているためである。今後も継続して公債費の抑制に努めるとともに、財政健全化による4指標に大きく関連する、公営企業債の元利償還金に対する繰出金などの“準元利償還金”を含めて、地方債残高の削減に努める。



類似団体内順位 49/72 **全国平均** 70.2 **熊本県平均** 68.6

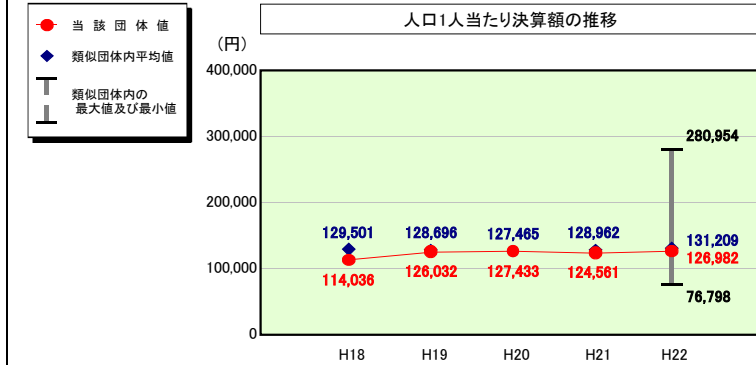
公債費以外の分析欄
普通建設事業費の人口1人あたりの決算額が平成22年度に大幅に増加したのは、平成21年度からの繰越事業として実施した、地域情報通信基盤整備事業(光ファイバー網整備)や安心安全な学校づくり事業(体育館の改築等)を行ったためである。
これらは国の経済対策に基づく交付金を活用し実施したものである。本事業の終了により、来年度以降の普通建設事業費は減少する見込みである。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

熊本県苓北町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



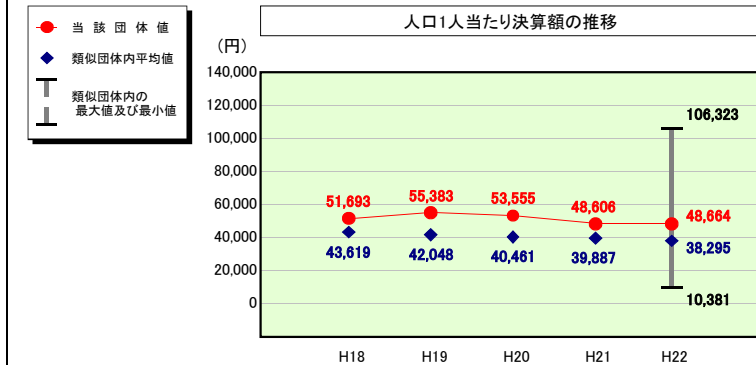
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	842,652	102,152	109,877	▲ 7.0
賃金 (物件費)	19,622	2,379	9,202	▲ 74.1
一部事務組合負担金 (補助費等)	139,899	16,960	15,856	7.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	1,216	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	89,979	10,908	5,219	109.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	66,157	8,020	2,153	272.5
▲退職金	▲ 110,835	▲ 13,436	▲ 12,313	9.1
合計	1,047,474	126,982	131,209	▲ 3.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	10.30	12.15	▲ 1.85
ラスパイレース指数	97.3	94.2	3.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

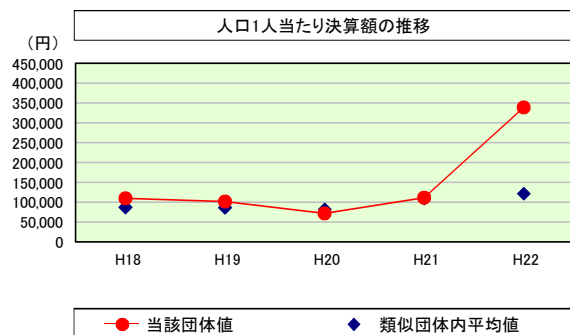


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	632,586	76,686	74,258	3.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	335,046	40,617	18,048	125.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	70,942	8,600	7,200	19.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	-	-	2,360	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	244	30	15	100.0
▲特定財源の額	-	-	▲ 4,034	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 637,388	▲ 77,269	▲ 59,552	29.8
合計	401,430	48,664	38,295	27.1

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

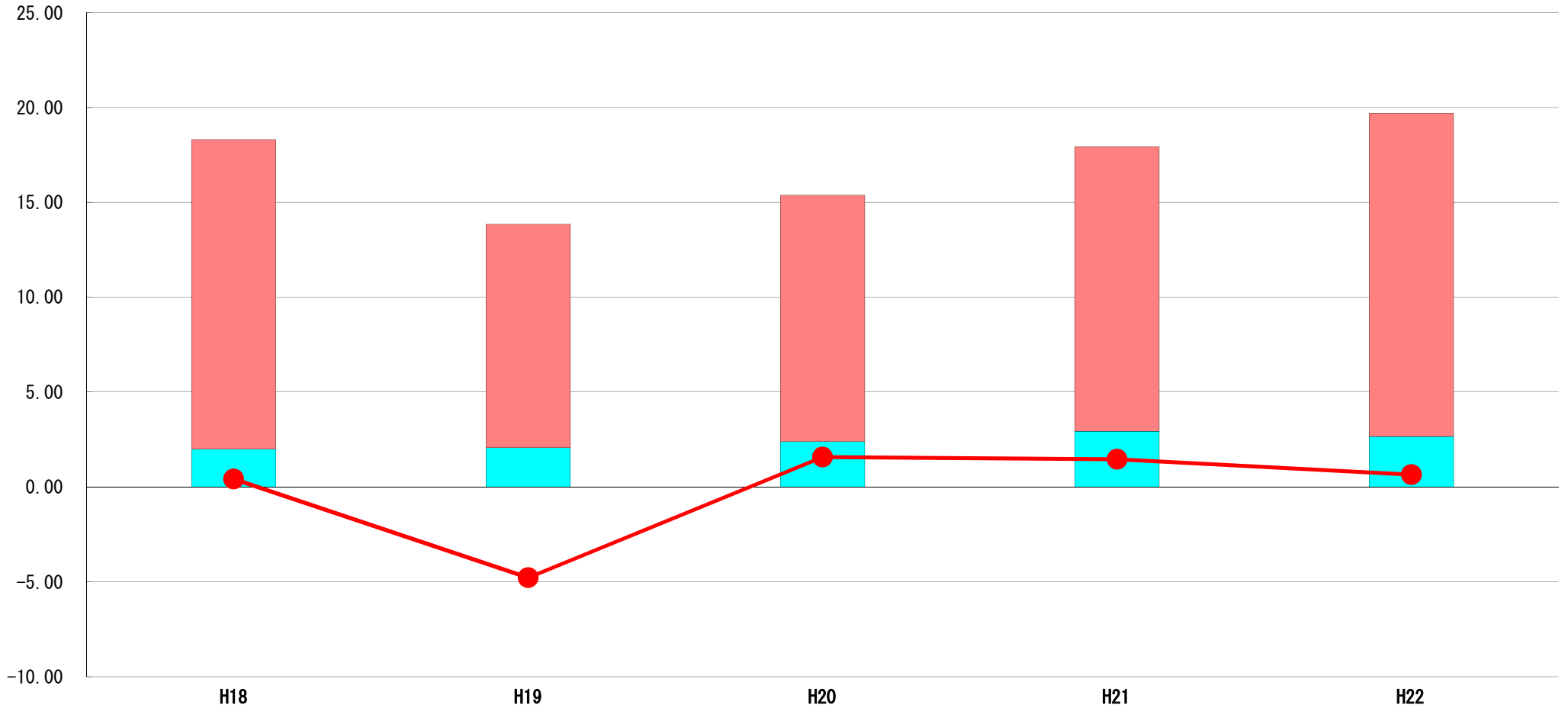
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H18	957,906	109,940	▲ 35.3	87,174	28.0	▲ 63.3
うち単独分	402,412	46,185	▲ 27.3	48,477	11.5	▲ 38.8
H19	877,277	101,997	▲ 7.2	86,616	▲ 0.6	▲ 6.6
うち単独分	465,238	54,091	17.1	49,776	2.7	14.4
H20	613,954	72,469	▲ 28.9	82,258	▲ 5.0	▲ 23.9
うち単独分	226,167	26,696	▲ 50.6	43,997	▲ 11.6	▲ 39.0
H21	932,353	111,485	53.8	109,234	32.8	21.0
うち単独分	318,847	38,126	42.8	63,976	45.4	▲ 2.6
H22	2,799,479	339,372	204.4	121,932	11.6	192.8
うち単独分	349,072	42,317	11.0	68,430	7.0	4.0
過去5年間平均	1,236,194	147,053	37.4	97,443	13.4	24.0
うち単独分	352,347	41,483	▲ 1.4	54,931	11.0	▲ 12.4

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成22年度

熊本県苓北町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		16.31	11.77	12.98	14.99	17.03
 実質収支額		2.00	2.08	2.39	2.93	2.67
 実質単年度収支		0.42	▲ 4.78	1.58	1.46	0.65

分析欄

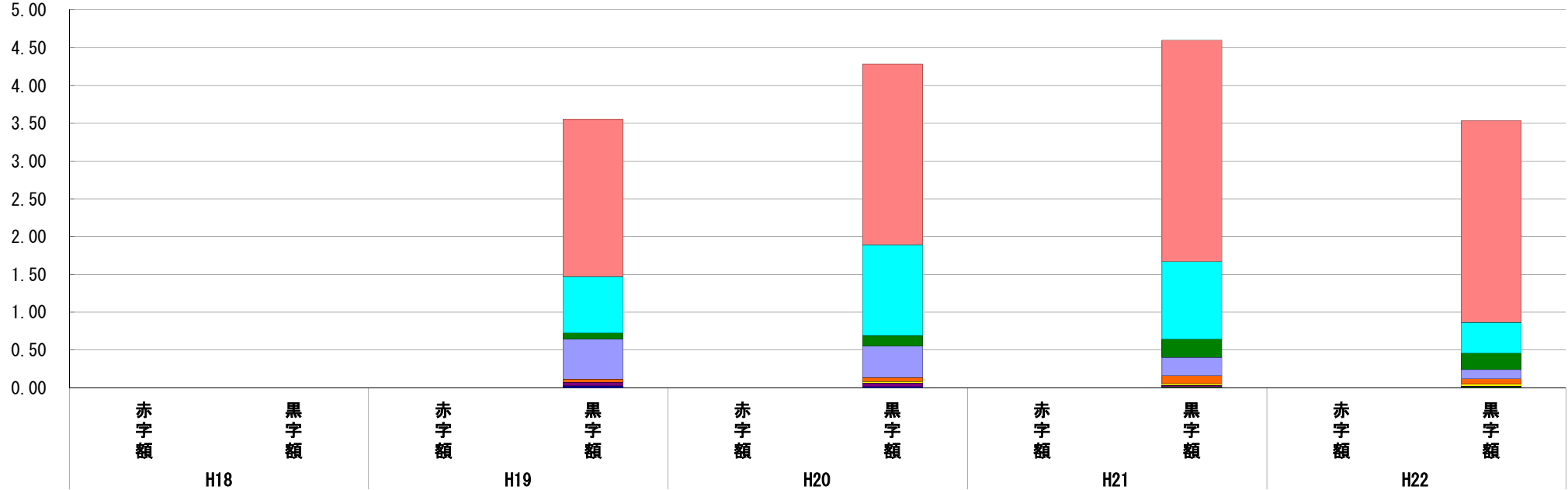
標準財政規模に対する実質収支額および実質単年度収支はここ数年安定した状態にある。
 実質収支・実質単年度収支の比率が前年度より低下しているが、これは経済対策による普通建設事業が平成21年度から22年度に大きく繰り越して実施したためである。
 一方財政調整基金残高の比率は年々増加傾向にある。これは基金取り崩しを極力行わず、基金積立を積極的に行っている成果である。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

熊本県苓北町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		-	2.08	2.39	2.93	2.67
苓北町国民健康保険特別会計		-	0.74	1.20	1.03	0.40
苓北町水道特別会計		-	0.09	0.14	0.24	0.22
苓北町介護保険特別会計		-	0.53	0.42	0.24	0.12
苓北町下水道特別会計		-	0.04	0.05	0.11	0.07
苓北町後期高齢者医療特別会計		-	-	0.02	0.02	0.03
苓北町特定地域生活排水処理事業特別会計		-	0.04	0.04	0.02	0.01
苓北町農業集落排水特別会計		-	0.01	0.00	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.02	0.02	0.00	0.00

分析欄

連結実質赤字比率については、全会計において黒字であり赤字比率はない。
 しかしながら、簡易水道事業においては、浄水場の施設の大規模改修が予定されており、水道事業債の増加による一般会計からの基準外繰り出し金を行わないよう、改事業修計画のスリム化を図り、健全な財政運営を行う必要がある。
 一般会計においても実質収支比率同様に今後は、普通交付税を含めた一般財源の確保が厳しい状況となる見込みであり、財政調整基金を始めとする各種基金の運用による財政運営が求められるため注視していく必要がある。

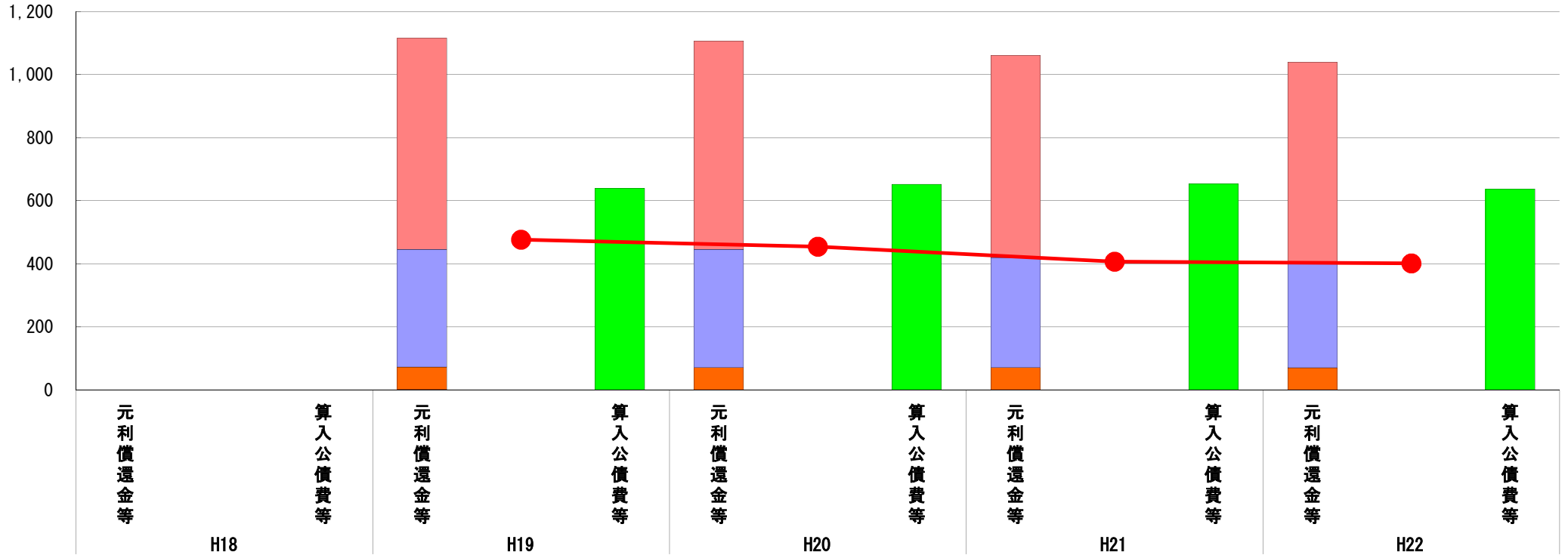
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

熊本県苓北町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金		-	670	661	641	633
	積立不足額考慮算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	373	374	348	335
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	70	71	71	71
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金利息		-	3	1	1	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		-	639	652	654	637
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		-	477	455	407	402

分析欄

実質公債費比率は3カ年平均で14.4%で年々減少傾向にはある。その要因であるのは、起債の償還完了に伴う元利償還金の減少。また、臨時財政対策債や補正予算債など、財政運営に有利な地方債の発行により算入公債費等も横這いとなっているため、実質公債費比率の分子となる額もわずかながら減少傾向にある。今後も起債発行額と元利償還金とのバランスを注しつつ、さらなる起債抑制策により、健全な財政運営に努める。

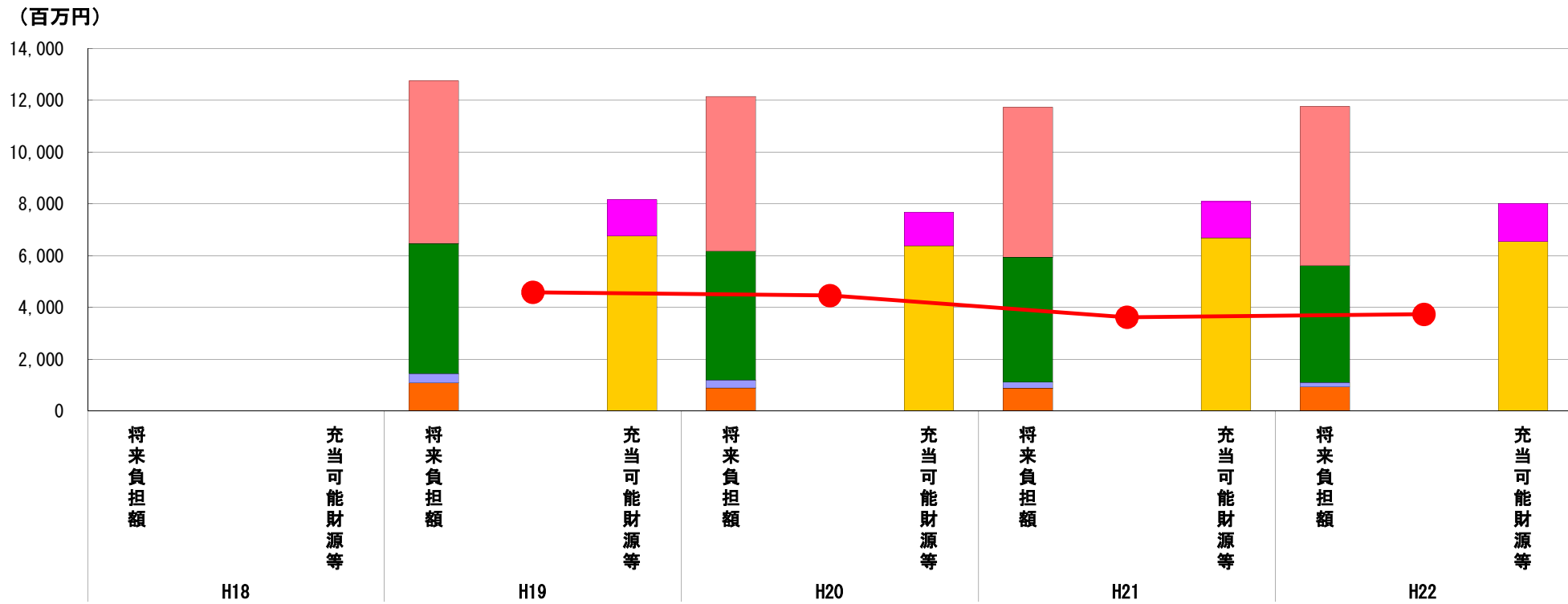
※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

熊本県苓北町



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	6,280	5,975	5,789	6,149	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	-	-	-	
	公営企業債等繰入見込額	-	5,015	4,979	4,810	4,511	
	組合等負担等見込額	-	363	299	235	172	
	退職手当負担見込額	-	1,095	902	892	935	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	1,403	1,303	1,408	1,469	
	充当可能特定歳入	-	-	-	-	-	
	基準財政需要額算入見込額	-	6,759	6,383	6,690	6,557	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	4,592	4,468	3,628	3,742	

分析欄
 将来負担率は、平成22年度決算が125.0%と前年より減少しているが類似団体と比べると将来負担額が大きく上回っている。減少の要因としては、公営企業債の償還完了に伴い公営企業債等繰入金見込み額が減少しており、充当可能基金は増加傾向にあるため、ここ5年をしてみると将来負担率の分子は減少傾向にある。今後も地方債発行の抑制や基金の運用の適正化に努め、後生への負担を少しでも軽減するように、とくに新規事業の実施については総点検を図り、財政の健全化を図る。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。